



平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年4月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ボルテージ

コード番号 3639 URL <http://www.voltage.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 津谷 祐司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 柴原 新吾

TEL 03-5475-8160

四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	5,872	26.8	587	△14.5	591	△13.6	346	△13.3
23年6月期第3四半期	4,632	40.4	687	50.2	684	49.9	400	44.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	70.25	67.73
23年6月期第3四半期	91.08	86.92

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	4,193	3,076	73.4
23年6月期	3,897	2,822	72.4

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 3,076百万円 23年6月期 2,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	15.00	—	23.00	38.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	19.00	19.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

- 平成23年6月期第2四半期末の1株当たり配当金は上場記念配当であります。なお、当社は、平成22年12月31日を基準日として平成23年1月1日付で、1:3の株式分割を行っております。そのため、平成23年6月期第2四半期末の1株当たり配当金は、当該株式分割前の数値で記載しております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合、平成23年6月期第2四半期末の1株当たり配当金は5円00銭となります。
- 平成23年6月期末の1株当たり配当金は、市場変更記念配当5円00銭と普通配当18円00銭の合計であります。

3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,050	26.8	840	9.6	839	10.2	494	11.3	99.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

上記の1株当たり当期純利益については、平成24年3月31日時点の発行済株式総数(4,969,749株)を基に算出しております。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期3Q	4,969,749 株	23年6月期	4,910,291 株
② 期末自己株式数	24年6月期3Q	228 株	23年6月期	228 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期3Q	4,938,987 株	23年6月期3Q	4,392,161 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成22年12月31日を基準日として、平成23年1月1日付で1:3の株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機や原油高の影響により企業収益は減少しましたが、エコカー補助金等の政策効果もあって個人消費は底堅く推移する等、景気は緩やかに持ち直してきました。

モバイルビジネスを取り巻く環境は、端末契約において、フィーチャーフォンからスマートフォンへの移行が進み、スマートフォン契約比率は、平成24年3月末の22.5%から平成25年3月末には37.7%に増加すると予測されております(注1)。キャリア公式サイト市場は、端末の変化に伴い、フィーチャーフォン向け市場は縮小していくものの、スマートフォン向け市場の急速な立上りにより、全体としては緩やかに増加するものと見込んでおります。ソーシャルアプリ市場は、成長が続き、中でも国内ソーシャルゲームの市場規模は平成24年度に3,429億円(前年度比1.3倍)に拡大すると予測されております(注2)。

このような環境の下、当社は、中期的な経営戦略として、次の2点を掲げております。

①「恋ゲーム」に経営資源を集中し、コンテンツの高付加価値化に努める。

※「恋ゲーム」は、「恋人」シリーズと「恋も仕事も!」シリーズの総称です。

②従来のキャリア公式サイト市場から、ソーシャルアプリ市場、スマートフォン向け市場及び海外市場へと、収益源の多様化を図る。

なお、顧客ターゲットについては、19才から44才の女性とし、特に30才前後の女性を中核層としております。

当第3四半期累計期間においては、売上は、主軸のモバイルコンテンツ事業の売上増により、増加いたしました。一方、費用は、概ね会社計画通り、ソーシャルアプリの販売増加による販売手数料の増加、テレビCMの積極出稿による広告宣伝費の増加がありました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は5,872,190千円(前年同期比26.8%増)、営業利益は587,938千円(同14.5%減)、経常利益は591,245千円(同13.6%減)、四半期純利益は346,978千円(同13.3%減)となりました。

(注) 1. 出所：株式会社MM総研「スマートフォン市場規模の推移・予測(12年3月)」平成24年3月13日発表

2. 出所：株式会社矢野経済研究所「ソーシャルゲーム市場に関する調査結果 2011」平成24年1月17日発表
金額はユーザー課金ベース(広告収入含まず)

セグメント別の概況は以下の通りであります。

(モバイルコンテンツ事業)

モバイルコンテンツ事業においては、ソーシャルアプリ、キャリア公式サイトについて、各々フィーチャーフォン向けとスマートフォン向けに、制作・運営と集客を行っております。

当第3四半期累計期間の施策は、以下の通りであります。

ソーシャルアプリは、8タイトル(内、スマートフォン向けは5タイトル)を立ち上げました。スマートフォン向けの売上は、端末の普及に伴い伸びており、2月投入の「社内恋愛☆2人のヒミツ for GREE」は順調に立ち上がりました。また、「Love&Job! オトナの事情 for mobage」を2月に配信開始しました。

キャリア公式サイトは、35タイトル(内、スマートフォン向けは月額課金版26タイトル、落切課金版5タイトル)を立ち上げ、第3四半期において、新規タイトル「同窓会は恋の始まり」を2月に投入しました。また、スマートフォン向けへの移行は、概ね完了しました。集客は、テレビCM「ベツカレ」の新シリーズを2月に投稿しました。

海外市場向けスマートフォンアプリは、「Romance Sims」シリーズ2タイトルを立ち上げました。3月投入の第2弾「My Forged Wedding」は、第1弾を上回る、好調な立ち上がりでした。

当第3四半期会計期間末における、ソーシャルアプリ数は19タイトル(内、スマートフォン向けは6タイトル)、キャリア公式サイト数は112タイトル(内、スマートフォン向けは月額課金版27タイトル、落切課金版7タイトル)、海外市場向けスマートフォンアプリ数は北米市場向け2タイトルとなりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,711,307千円(前年同期比29.6%増)、セグメント利益は1,122,966千円(前年同期比4.0%減)となりました。

(モバイルコマース事業)

モバイルコマース事業においては、平成24年1月24日付「モバイルコマース事業の閉鎖に関するお知らせ」で公表しました通り、平成24年3月31日の事業閉鎖に向け、在庫商品の販売に注力し、予定通り閉鎖いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は154,906千円（前年同期比23.2%減）、セグメント損失は45,200千円（前年同期はセグメント損失22,443千円）となりました。

(その他)

その他の事業においては、パッケージ事業の収益が計上されており、主にモバイルコンテンツ事業のコンテンツに関連した、DVD・CD・書籍の販売を行っております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,976千円（前年同期比74.3%減）、セグメント損失は1,485千円（前年同期はセグメント利益6,996千円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して296,495千円増加し、4,193,812千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が46,121千円減少したものの、売掛金が331,618千円増加したことによるものです。

負債は前事業年度末と比較して42,442千円増加し、1,117,002千円となりました。その主な要因は、未払法人税等の減少121,943千円や1年内返済長期借入金及び長期借入金の減少44,108千円があったものの、未払費用が193,876千円増加したことによるものです。

純資産は前事業年度末と比較して254,053千円増加し、3,076,810千円となりました。その主な要因は、四半期純利益の増加により利益剰余金の増加234,046千円があったことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

前記の中期的な経営戦略に基づき、第4四半期においては、以下の取り組みを行います。

- ・ ソーシャルアプリは、SNSプラットフォームを限定的に拡大するとともに、スマートフォン向けタイトルの充実を図ります。世代進化（収益力の向上）は、第4世代の研究を進め、来期第1四半期中の投入を目指します。システム開発の面では、Web開発フレームワーク「S-VF」の初期開発を9月目途で完了し、フィーチャーフォン向けとスマートフォン向けの一体化による、開発期間の短縮と品質向上の両立を図っていきます。
- ・ キャリア公式サイトは、30才前後女性向けに注力しており、4月に1タイトル投入しております。テレビCMは、4月に「ベツカレ」新シリーズを出稿しました。また、個別課金の強化を継続し、顧客単価の維持を図ります。スマートフォン向けは、月額課金版を5月に1タイトル投入予定で、落切課金版を4月に1タイトル投入しています。システム開発の面では、落切課金版向けアプリ ライブラリ「K-Vap1」の初期開発を6月目途で完了し、開発の効率化を図っていきます。
- ・ 海外市場向けスマートフォンアプリは、ソーシャルアプリ版を当第4四半期中に投入する予定です。また、北米市場へのコンテンツ配信を本格化するため、米国拠点の設立準備を進めていきます。
- ・ 社内組織は、来期以降の成長に向け、人材採用を強化しており、当事業年度末に、従業員(※)300名体制（前事業年度末比で約30%増）を構築する予定です。また、システム開発の体制は、オフショア開発と外部リソースを積極的に活用することにより、開発力の向上を図ります。

※従業員は、契約社員、パートタイマー、派遣社員を含みます。

当事業年度の売上高は、上記の取り組みにより、順調に推移するものと見込まれます。第4四半期の営業利益率は、テレビCM出稿を計画通り4月で一旦終了するため、当第3四半期累計期間を上回る予定です。これらにより、当事業年度の営業利益、経常利益、当期純利益は、概ね計画通りに推移する見込みです。

以上により、当事業年度の業績予想は、平成24年2月3日付「業績予想の修正に関するお知らせ」の公表時から変更なく、売上高8,050百万円（前事業年度比26.8%増）、営業利益840百万円

(同9.6%増)、経常利益839百万円(同10.2%増)、当期純利益494百万円(同11.3%増)を見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,010,498	1,964,376
売掛金	1,468,509	1,800,127
商品及び製品	27,130	291
前払費用	28,497	30,759
繰延税金資産	38,271	52,373
その他	402	238
貸倒引当金	△10,547	△25,560
流動資産合計	3,562,761	3,822,607
固定資産		
有形固定資産		
建物	36,995	36,995
減価償却累計額	△27,762	△31,631
建物（純額）	9,232	5,364
工具、器具及び備品	149,803	193,246
減価償却累計額	△119,945	△140,854
工具、器具及び備品（純額）	29,857	52,392
有形固定資産合計	39,090	57,756
無形固定資産		
ソフトウェア	95,456	114,965
無形固定資産合計	95,456	114,965
投資その他の資産		
繰延税金資産	24,197	26,237
敷金	175,810	172,245
投資その他の資産合計	200,008	198,483
固定資産合計	334,555	371,205
資産合計	3,897,316	4,193,812

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	95,763	87,287
1年内返済予定の長期借入金	38,106	—
未払金	14,141	5,655
未払費用	644,070	837,947
未払法人税等	220,937	98,993
賞与引当金	—	47,989
その他	55,539	39,128
流動負債合計	1,068,558	1,117,002
固定負債		
長期借入金	6,002	—
固定負債合計	6,002	—
負債合計	1,074,560	1,117,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	866,914	876,918
資本剰余金	832,514	842,518
利益剰余金	1,123,523	1,357,570
自己株式	△196	△196
株主資本合計	2,822,756	3,076,810
純資産合計	2,822,756	3,076,810
負債純資産合計	3,897,316	4,193,812

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	4,632,321	5,872,190
売上原価	1,017,204	1,267,667
売上総利益	3,615,116	4,604,523
販売費及び一般管理費	2,927,152	4,016,584
営業利益	687,964	587,938
営業外収益		
受取利息	259	380
為替差益	—	196
雑収入	48	2,782
営業外収益合計	308	3,359
営業外費用		
支払利息	1,162	53
寄付金	3,000	—
営業外費用合計	4,162	53
経常利益	684,110	591,245
特別利益		
貸倒引当金戻入額	24	—
特別利益合計	24	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,955	—
固定資産除却損	455	5
特別損失合計	6,411	5
税引前四半期純利益	677,724	591,239
法人税、住民税及び事業税	309,237	260,404
法人税等調整額	△31,547	△16,142
法人税等合計	277,690	244,261
四半期純利益	400,033	346,978

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自平成22年7月1日 至平成23年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	モバイル コンテンツ 事業	モバイル コマース 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,407,309	201,746	4,609,056	23,264	4,632,321	—	4,632,321
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,407,309	201,746	4,609,056	23,264	4,632,321	—	4,632,321
セグメント利益又は 損失(△)	1,169,455	△22,443	1,147,012	6,996	1,154,009	△466,044	687,964

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パッケージ事業を含んでおります。パッケージ事業は、モバイルコンテンツ事業で制作したコンテンツと関連したDVD・CD・書籍等を製作・販売しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△466,044千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間（自平成23年7月1日 至平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	モバイル コンテンツ 事業	モバイル コマース 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,711,307	154,906	5,866,214	5,976	5,872,190	—	5,872,190
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,711,307	154,906	5,866,214	5,976	5,872,190	—	5,872,190
セグメント利益又は 損失(△)	1,122,966	△45,200	1,077,766	△1,485	1,076,281	△488,342	587,938

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パッケージ事業を含んでおります。パッケージ事業は、モバイルコンテンツ事業で制作したコンテンツと関連したDVD・CD・書籍等を製作・販売しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△488,342千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。